

きらりと輝く人

仕事や趣味など、様々な分野で目標に向かって、生き生きと輝いている市民の皆さんを紹介していきます。



米、水、人にこだわった 日本酒で温海をPR

しゅとくかい 温海酒徳会 (温海)

温海地域の酒販店で組織される同会が企画・販売に取り組んでいるオリジナルの限定酒「摩耶山」。今年は「しぼりたて原酒」・「にがり酒」(販売中)と「蔵出し原酒」(7月販売)の合わせて6,000本を販売予定です。県内外のファンの要望に応じて毎年増産しています。お話してくれたのは会長の佐藤満也さんです。



日本酒「摩耶山」が誕生するきっかけは、平成15年の秋頃、「16年の温海町町制施行50周年に向けて、温海オリジナルの日本酒を造ってみよう」という声が上がったことでした。そこで、同会を組織することとなり、東北銘醸(株)に製造を依頼。16年4月の各地区の祭りに合わせて販売したところ、多くの方が「おらほの酒だ!」と、とても喜んでくれました。当初は1回限りの予定でしたが、好評だったことから翌年以降も継続して企画。今では自治会や農協、行政とも手を取り合いながら、観光客へのPRや消費拡大などに取り組んでいます。

命名の由来である摩耶山。その麓の越沢地区の農

家から、湧水「郷清水」^{ごうしみず}で栽培したはえぬきを酒米として提供してもらえることになったのが10年前です。地元の人の協力で、100%地産地消の酒を販売できるようになりうれしかったですね。

3月5日④に、温海地域の若者で組織する「まちづくりチームYUKAI」の主催で「摩耶山新酒まつり」が行われます。若者たちがお酒で地域を盛り上げようとしてくれることは大変喜ばしいことですし、私たちも一緒に取り組んでいければと思います。

今年もおいしい酒ができました。今後もこだわりの温海の酒をより多くの人に味わってもらいながら、地域の活性化につなげていきたいですね。

A づるおか婚シエルジュにご相談ください

本市には、ボランティアで結婚の世話焼き活動をする「づるおか婚シエルジュ」がいます。結婚を希望している方は気軽にご相談ください。婚シエルジュと一緒に、出会いへの一歩を踏み出してみませんか。

■づるおか婚シエルジュってどんな人?

平成26年度に講習等を受け、本市から公式に認定された「結婚の世話焼き仲人」です。現在26人が認定されています。婚シエルジュ自身の交友関係を有効に活用し、結婚を希望する方を支援します。

Q 個別に結婚の相談をしたいのですが

現在、婚活中ですが、婚活イベントがあっても、都合が付かないことが多く、なかなか参加できません。個別に相談することはできますか。

声

voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。
◎送り先 本所総務課
☎25-2111内線316